

(単位：百万円)

区 分	2021 年度末	2022 年度末
	金 額	金 額
個人変額保険	68,352	63,809
個人変額年金保険	17,641	15,778
団体年金保険	121,919	120,941
特別勘定計	207,913	200,529

(注) 上記の数値には一般勘定貸を含めて記載しています。

■運用環境

1. 経済動向

2022年度の日本経済は、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念などがある中、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しが続きました。

海外も、世界的な物価上昇を受け金融引締めが急速に進展しているもとで、経済活動の再開の進展、サービス消費や設備投資の増加、雇用の安定等により底堅い動きが見られました。

2. 金利と為替

日本の長期金利は、日本銀行が金融政策の一部修正に動いたことを受けて上昇しました。その結果、10年国債利回りは、2021年度末の0.21%から2022年度末は0.32%となりました。

米国の長期金利は、物価安定に向けたFRB（米連邦準備理事会）の金融政策引き締めが継続されたことから上昇しました。

為替相場は、金融政策の違いによる日米金利差拡大などを背景に円安・ドル高方向の動きとなりました。その結果、ドル/円は、2021年度末の122.39円から2022年度末は133.53円となりました。

3. 株式市場

国内株式市場は、米国のインフレ高騰に伴う金融引き締めの継続、世界景気の先行きへの懸念等が意識され、上値の重い展開が続きましたが、総じてみれば、欧米の株式市場が下落するなかでも比較的底堅く推移しました。その結果、日経平均株価は、2021年度末の27,821円から2022年度末は28,041円となりました。

米国株式市場は、企業決算やインフレ圧力低下等により上昇する局面もありましたが、全体としては金融引き締めによる景気減速、企業業績悪化懸念等から下落基調となり、前年度末比では下落しました。欧州市場は、概ね米国同様の動きとなりましたが、欧州域内景気の底入れ等により米国に比べ堅調な動きとなりました。

■運用内容及び運用方針

1. 個人変額保険（有期型・終身型）・個人変額年金保険（基本年金額保証型）

(1) 運用内容

個人変額保険については、コロナ禍からの経済活動の正常化が進む一方で、物価上昇や欧米の金融引き締めによる世界景気への先行き懸念からリスクを抑制し、年度を通して概ね中立的な資産配分としました。

一方で、個人変額年金保険については、世界経済の動向を考慮しつつ、国内債券の組み入れを中心とした年金資産としての運用の安定性に配慮しました。

外貨エクスポージャー（為替レートの変動を受ける部分）については、外貨建資産組み入れ相当としました。

① 公社債

国内債券の平均残存期間は、日銀による金融緩和政策のもと、金利水準等を考慮し長短の調整を行いました。債券種別配分は、事業債の組み入れをクレジット判断等に基づき調整しました。外国債券の平均残存期間は、景気、金融政策の動向を睨みながら長短の調整を行いました。

② 株式

株式は内外ともに、企業の収益性や資産価値等の面から相対的に魅力度の高い銘柄を選択し、銘柄を分散することにより、個別銘柄の影響度を過度に高めない運用を行いました。なお、年度を通じて貸株による運用は行っていません。

(2) 運用方針

当社特別勘定は、中長期的に安定した総合収益の拡大を通じて、特別勘定資産の実質価値の増大に努めることを運用の基本方針とし、国際分散投資を実践しています。

運用の実践に際しては、三井住友DSアセットマネジメント株式会社の投資助言に基づいて行っています。

2. 投資信託を主な投資対象とする個人変額保険および個人変額年金保険

以下に掲げる商品については、各特別勘定の主たる投資対象となる投資信託等の組入比率を原則高位に維持する運用方針を継続しています。

・一時払変額終身保険（複数勘定型）、一時払個人変額年金保険（複数勘定型）、一時払個人変額年金保険（年金原資額保証型）、一時払個人変額年金保険（目標到達時定額変更型）。

■保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険（有期型）	24	105	17	70
変額保険（終身型）	32,668	240,290	31,831	232,723
合計	32,692	240,396	31,848	232,793

(注) 保有契約高には定期保険特約部分を含みます。

■年度末個人変額保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・コールローン	12	0.0	4	0.0
有価証券	65,511	95.9	60,771	95.2
公社債	18,517	27.1	18,627	29.2
株式	21,362	31.3	20,281	31.8
外国証券	21,299	31.2	18,056	28.3
公社債	7,536	11.0	6,611	10.4
株式等	13,763	20.2	11,445	17.9
その他の証券	4,331	6.3	3,805	5.9
貸付金	—	—	—	—
その他	363	0.5	352	0.6
一般勘定貸	2,464	3.6	2,680	4.2
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	68,352	100.0	63,809	100.0

■個人変額保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区 分	2021 年度		2022 年度	
	金 額		金 額	
利息配当金等収入		1,330		1,368
有価証券売却益		3,076		2,874
有価証券償還益		—		0
有価証券評価益		17,106		14,856
為替差益		19		33
金融派生商品収益		—		—
その他の収益		0		0
有価証券売却損		554		905
有価証券償還損		0		5
有価証券評価損		16,856		17,516
為替差損		7		21
金融派生商品費用		—		—
その他の費用		0		0
収支差額		4,112		683

■個人変額保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

1. 売買目的有価証券の評価損益（個人変額保険特別勘定）

（単位：百万円）

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	貸借対照表 計上額	当期の損益に含まれた 評価損益	貸借対照表 計上額	当期の損益に含まれた 評価損益
売買目的有価証券	65,511	249	60,771	△ 2,659
公社債	18,517	△ 365	18,627	△ 9
株式	21,362	△ 1,067	20,281	△ 398
外国証券	21,299	1,669	18,056	△ 2,010
公社債	7,536	△ 141	6,611	△ 442
株式等	13,763	1,810	11,445	△ 1,567
その他の証券	4,331	13	3,805	△ 241

（注）「当期の損益に含まれた評価損益」には振戻損益を含んでいます。

2. 金銭の信託の時価情報（個人変額保険特別勘定）

2021 年度末、2022 年度末ともに該当する残高はありません。

3. デリバティブ取引の時価情報【ヘッジ会計適用・非適用分の合算値】（個人変額保険特別勘定）

2021 年度末、2022 年度末ともに該当する残高はありません。

5-4

個人変額年金保険（特別勘定）の状況

■保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	5,345	21,203	4,753	18,930

■年度末個人変額年金保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・コールローン	1	0.0	0	0.0
有価証券	16,977	96.3	14,831	94.0
公社債	8,917	50.6	8,340	52.9
株式	3,230	18.3	3,010	19.1
外国証券	2,968	16.8	2,180	13.8
公社債	1,031	5.8	732	4.6
株式等	1,937	11.0	1,448	9.2
その他の証券	1,860	10.6	1,299	8.2
貸付金	—	—	—	—
その他	58	0.3	54	0.3
一般勘定貸	603	3.4	891	5.7
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	17,641	100.0	15,778	100.0

■個人変額年金保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区 分	2021 年度		2022 年度	
	金 額		金 額	
利息配当金等収入		439		385
有価証券売却益		710		530
有価証券償還益		—		—
有価証券評価益		2,955		2,444
為替差益		3		5
金融派生商品収益		—		—
その他の収益		0		0
有価証券売却損		135		236
有価証券償還損		—		—
有価証券評価損		3,430		3,066
為替差損		1		2
金融派生商品費用		—		—
その他の費用		0		0
収支差額		542		59

■個人変額年金保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

1. 売買目的有価証券の評価損益（個人変額年金保険特別勘定）

（単位：百万円）

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	貸借対照表 計上額	当期の損益に含まれた 評価損益	貸借対照表 計上額	当期の損益に含まれた 評価損益
売買目的有価証券	16,977	△ 474	14,831	△ 622
公社債	8,917	△ 191	8,340	△ 13
株式	3,230	△ 263	3,010	△ 66
外国証券	2,968	162	2,180	△ 362
公社債	1,031	△ 28	732	△ 52
株式等	1,937	190	1,448	△ 309
その他の証券	1,860	△ 182	1,299	△ 180

（注）「当期の損益に含まれた評価損益」には振戻損益を含んでいます。

2. 金銭の信託の時価情報（個人変額年金保険特別勘定）

2021 年度末、2022 年度末ともに該当する残高はありません。

3. デリバティブ取引の時価情報【ヘッジ会計適用・非適用分の合算値】（個人変額年金保険特別勘定）

2021 年度末、2022 年度末ともに該当する残高はありません。